

## 第22回 議会改革推進特別委員会記録

令和5年6月22日(木)

14時45分 ～ 15時50分

全員協議会室

- 【委員】 牛尾委員長、西田副委員長  
三浦委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員
- 【委員外】 肥後議員
- 【議長団】 笹田議長
- 【事務局】 下間局長（書記）、小寺主事
- 

### 議 題

- 1 議員選出監査委員の廃止について
- 2 議会におけるICTの活用と推進について
  - ・LINE WORKSの活用
- 3 議会改革推進特別委員会における中間報告について
- 4 その他

○次回開催 7月 11日(火) 16時 30分 ～ 全員協議会室

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 14 時 45 分 開議 ]

○牛尾委員長

第22回議会改革推進特別委員会を行う。皆お疲れだと思うが、なるべくさっとまとめて早く終わりたい気持ちは持っている。よろしくご協力をお願いします。

1 議員選出監査委員の廃止について

○牛尾委員長

一応先般も議論していただいたが、一旦持ち帰ってもらい、さらにまとめていただくということで前回終わっている。資料はタブレットに入れてもらっていて、すでに十分読み込まれていると思う。併せて順番にご意見を伺っていきたい。

○佐々木委員

資料はしっかり読み込んできた。江藤氏の話もいろいろ出ていて参考にはなったが、ただ芽室町では議選監査が必要という見解、いろいろ議論された上で出ていた。また、議員と監査委員の視点の違いなども少し出ていた。やはり明確な違いをやっていく中で認識しながら、それぞれをこなすのは非常に難しい。恐らく議会で経験したことが議選に生かされたり、またその逆も当然ある。

ずっと言ってきたが、当面は今の経費の中で監査機能を生かすという意味では、議選監査が必要なのかと、今回の資料を読み込む中でもさらに認識を高めた。

○牛尾委員長

必要ということか。

○佐々木委員

はい。

○三浦委員

個人の意見というか会派の中で相談もということだったので、持ち帰って協議をしてきた。芽室町の参考資料の中に「識見の監査委員は決算を重視するが、議選は予算やまちの事業を重視しながら監査する」という一文があり、議選監査の必要性を主張されるような提供資料にも同じようなことが書いてあった。こうしたところを求めるのなら、役割としては必要だということになるので、我々の会派内では肯定的な意見が多かったように思う。私もこれまでの委員会の中で、必要性について理由が明確ではないということで、賛成でも反対でもない考えをずっと示していたが、役割が整理されるのなら、こうした理由にのっとって議選監査を選出するというのであれば、必要なのではないかと思う。

もう一つ、会派内で共通して各議員が言っていたのは、こうした役割を議選監査に見出して選出するのであれば、きちんと議会全体としてどのような視点で監査に臨んでいただくのか、守秘義務もあるのでどういった情報がフィードバックいただけるかというのはあるのだが、議会と監査行為をしっかりとつなぐような仕組みも一緒に整

理しないと、定義だけ作っても機能しないので、そのあたりはこの議論の延長線上でしっかり定義されるべきではないかと。これは会派の総意として伝えておきたい。

#### ○田畑委員

結論として議選監査は必要であろうと会派で話をした。監査そのものについて、いろいろな角度から見るといろいろな問題があるかと思うが、特に守秘義務等についてはいろいろな状況の中で判断していかざるを得ないと感じており、詳細についてはまた、議選監査が必要か必要でないかが決まってから、その先を一つずつ詰めていかないといけない、という話になった。

#### ○村武委員

先ほど三浦委員から我々会派の意見を述べていただいた。私も同じ意見だが少し付け加えると、監査委員の選任プロセスも考えていく必要があるのではないかという意見もあった。

#### ○小川委員

議会改革推進特別委員会で議選監査の必要性について議論してきたことを、その都度会派に報告してきた中で、おおむね必要性については賛同を得られている。今回の議題の中でも「廃止について」という言葉が、報告を受けている中では必要だと言っているのに廃止について決まったのかと勘違いされる委員外議員もおられるので、どうかと相談もしたのだが、当初からこのタイトルで来たので、途中で変えるのもどうかということもあり、その説明を都度している現状である。

私もこの間の勉強会などを通じて感じたのは、監査委員の方が議会の、特に予算審議などを注視しておられると聞いたときに、そのことを審議に参加している側の議員の立場は、お金のこと以上に、政策との関係で非常に重要な位置付けがあるのではないかと考えている。任期については十分議論していないが、議員の中で共有できる情報についてどこまで共有化できるかといった課題はあると思うが、おおむね議選監査は必要だろうということを確認してきている。

#### ○西田副委員長

議選監査委員のいろいろな問題点も指摘されているが、前向きにとらえると、やはり必要ということである。執行部から出てくる予算の背景、あるいは事業背景といったことも議会側でしか分からないところがあるので、そういったことを踏まえると議選監査委員の意義はあるということ、前向きにとらえて必要ということである。ただ、議選監査委員の選出に関しては、きちんとした議論が必要であると思う。

#### ○牛尾委員長

大方の皆、総論賛成である、ただいろいろな問題があるということを言われた。とりあえず議選監査については継続するということが、一旦諮ったほうがよいだろうか。では、皆の意見を伺ったので、今後いろいろやっていく課題はあるので、それをこれからまとめる。議選監査は継続するということが、賛成の方の挙手を求める。

( 賛成者挙手 )

挙手全員で、議選監査は継続するということが決まった。ここままで良いか。

## ○下間書記

この特別委員会の中で議選監査は必要だとの結論に至った。それはそれで、先ほど話が出たように議会と監査業務をつなぐ役割だとか、どういった視点で監査に臨むかを議会から提案するとか、選出することが決まっただけなら今までと変わらないので、さらに何か、議会とをつなぐ役割としてフィードバックしてもらうような仕組みが必要かと思う。どういう方法でどういったことができるのかをもっと議論していただけたら良いかと思う。それと選出のあり方。任期の部分も含めて議論して、検討結果報告を議長に出せればと考える。

## ○牛尾委員長

いろいろ伺っていて、議選監査と一般議員をつなぐ仕組みにはどういうものがあるかといった提案など。守秘義務をどういう範疇でやるのか。また、どういう過程で選ばれるか。今の過程で言えば、各会派から推薦で出て、市長部局が提案する。芽室町の資料を読むと、ほかの市議会はそうではないが、議長団経験者のほうが監査になったときにいろいろなことが見えるのではないかとっておられる方が全国の市議会議長OBに多いのだが、芽室町はそうではなく、若い人が監査を経験すべきではないかと書いてあったように思う。つなぐ仕組みや守秘義務の範囲、選出の方法、この三つくらいをテーマに詰めたほうが。ほかにあったらどうか。

## ○下間書記

監査委員に守秘義務はある。それはどこまでかというのをこの委員会で議論するのはなかなか難しいかと。守秘義務を持ったまま議会に提供できるものはできる。例えば、監査委員は1年間の決算をした後に、こういった監査の審査意見書を出されている。9月定例会議のときに、こういった意見書を結構しっかり書かれている。着眼点、審査意見など。それ以外にも、9月には健全化判断比率や資金不足比率審査意見書も作られている。実際9月の決算審査のときに、この意見書を議会がどこまで読み込んでいるかといえ、あまり詳しく全部を理解できているわけではないと思う。そういったことを議選監査委員から少し説明していただく方法もあるかと思う。新しい資料を議選監査委員に作ってもらうというよりも、今しっかり作っていただいている資料、意見書について、こういう視点でここは書かれているのだといったレクチャーを受けるようなことがあっても良いのかと思った。

## ○三浦委員

それで言うと、配付してもらった資料の可児市議会でも、決算監査報告書を全員協議会で報告・説明というのがある。議選監査委員として議会から選出した監査がいることの意義を持って監査されているのであれば、代表監査とは違った視点での監査報告はあってしかるべきだと思う。同じ資料ではあるが、どうだったかを議選監査から聞くだけでも、意味合いは大分違うのではないかと思う。

## ○牛尾委員長

議選監査が得たノウハウを、守秘義務がある中でいかに一般議員につなげていくか。そういうことをどこかの場面でやる必要があるのだろう。このテーマでほかに何かあ

れば。

#### ○下間書記

先ほど配信した意見書などは公開しているもので、あれに関して守秘義務があるわけではないので、しっかり説明はいただけると思う。

#### ○牛尾委員長

監査委員事務局といろいろな話をしたときに、向こうに出てきてもらって話をしてほしいと言ったら、直近は忙しいから困ると言われた。議選監査委員が例えば全員協議会で、議選監査としての視点を皆に披露する場面を作るとしたら、代表監査に同席してもらったほうが良い気もする。その辺を決めていけば良いのかと。何度もできないと思うので、代表監査・議選監査・監査委員事務局に来てもらい、議選監査が主導して今言われたようなことを一般議員にレクチャーしてもらおうといった姿はどうだろうか。例えば全員協議会でやるとしても、ある程度の形を作っておかないといけない。議選監査が我々一般議員にレクチャーするときはどういう形が良いか。

#### ○田畑委員

全員協議会という場を通じて報告してもらうのが一番良いのだろうが、今まで議員になってかなりの年数がたつが、監査委員から説明を受けたことも報告されたこともない。初めて取り組むことだろう。いずれにせよ全員協議会の場で議選監査委員だけで良いのかもがあるが、何らかの報告はしてもらったほうが良いと個人的に思う。

#### ○牛尾委員長

やり方はどんどん変えていけば良い。とりあえず最初をどういう形にするか、一つずつ決めていかないといけない。

#### ○西田副委員長

そうすると監査委員の意見書や、いつも9月定例会議において決算監査があるので、その監査資料ができて上がるのが9月定例会議の何週間か前か。

#### ○下間書記

1週間前の議会運営委員会的时候には議案はできているので、そのときにはこの意見書もできている。定例会議初日に提案して、その日に全員協議会があるので、そこで良いかもしれない。

#### ○西田副委員長

議選監査委員から資料について、何らかの意見を含めたレクチャーがあったほうが良いかと思う。

#### ○下間書記

意見書などについて説明いただけると、決算審査の通告のときにも皆が参考にできると思うので、より監査委員のご意見も踏まえた上での決算審査ができるかと思う。

#### ○牛尾委員長

やってみないと分からないので、とりあえずそういう形で1回目に臨む。つなぐ仕組みとは、議選監査委員の知り得たノウハウを一般議員に伝える場所ということで良いか。

### ○三浦委員

議会から選出されて監査を行うわけなので、議会視点をそこにどう持ち込むかと、持ち込んだ結果の監査がどうだったかを、どこかで報告いただくのが良いと思う。報告については全員協議会の場が良いのではないかという案があった。例えば決算監査を迎えるまでに議会全体と議選監査が何か接点を持ったり、意見交換する場があったりするほうが良いのか、そのあたりまで、まだ会派内でアイデアが出たわけではない。報告を受けるだけで良いのか。臨む姿勢や視点は選出された監査、その方が適切だということで選出しているのだから、期待する部分はあるにしても、事前に何かそういうやり取りがあったほうが良いのか。戻してもらおうなら。そういうことである。

### ○牛尾委員長

議選監査委員の経験がある芦谷議員に聞いたのだが、過去の監査報告書の中で、ある老人福祉施設のお金の動かし方にまずい点があって、それを指摘したらお金を返還したと。相当な大きい金額だったが監査委員の報告には入ってなかった。本当はそういうのを入れてほしいのだと。議選監査がいたからその指摘ができたのだと。これは一例だが、今後そういうことが少しずつ出てくるかもしれないし、出てこないかもしれない。議選監査委員でないと気づかないケースもあって、そういうことがあると職員は助かる。いずれにせよ、一つずつ、まとめさせてもらう。残すことは決まったが、中身については一旦会派に持ち帰ってもんでもらって、持ち寄ってもらうという方法に決めたい。つなぐことについては大体今のような話でよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

続いて選出方法について。多分各会派で候補者を出して、あとは副議長が座長になってまとめているのだったか。

### ○下間書記

人事案件なので各派交渉会を開いて決めている。

### ○牛尾委員長

任期2年だと、ようやく監査が頭に入った頃に代わるので人材的にもったいない。代表監査は、4年やってもらったほうが良いと言われていた。一方、監査職を4年の任期内に二人経験するというのは、それはそれで貴重だと思う。監査委員が2年交代なのは慣例であって、どこにも定まっているものでもない。もしあれなら、ここでそういうことを議論しても良いかと思うのだが。

### ○田畑委員

監査の内容を熟知しようと思えば、2年ではとても無理だと思う。本来は4年が良いのではと思う。でないと、覚えかけた頃には任期が終わる。

### ○牛尾委員長

個人的な意見で良いので、佐々木委員どうだろうか経験者として。

### ○佐々木委員

一応制度上の任期は4年だが、2年で辞表を出している。確かに田畑委員も言われたように長いほうが良いのだろうが、一方で委員長が言われたように、ほかの視点を入

れる利点もあるのかもしれない。ここは議論のしどころ。代表監査委員は4年と言われたので、それが一番重くなってくるのかもしれないが。個人的には、ここははっきり言えない。

#### ○小川委員

代表監査委員の言われることは、なるほどそうだと思う。恐らく全国でも、議選監査の任期のデータは市議会議長会にもありはしないか。任期は4年が妥当な気もするが全国の状況が分からない。もし分かれば参考にできたら良い。

#### ○牛尾委員長

選出と任期については次回にしよう。守秘義務が難しいと言われたが、個人情報原則守秘義務があるのだから。例えば、議選監査委員が全員協議会で報告する際に、グレーだと思った部分は代表監査と相談してもらって、やめたほうが良いという部分があればというくらいで良いのではと思うが。これも会派で議論されたことがないので、持ち帰ってもらったほうが。

#### ○西田副委員長

議選監査が9月定例会議初日の全員協議会で、意見書の中身などを説明する際、資料の中身を丁寧に講義するのではなく、議選監査の判断にお任せして、浜田市議会がこれから決算審査に臨むに当たって、参考になる点だけをピックアップして説明してくれる程度でも良いのでは。

#### ○牛尾委員長

この間現監査委員である岡本議員と話したが、監査も全てではできないから、3年クールくらいでやるのだと。その中で当然ピックアップして重要だと思われることを伝えてもらえば良いかと。岡本議員も、現状ではそれしかできないだろうと言われていた。一定の時間の中で、一般議員にも伝えたい重要なポイントのみ伝えてもらうようお願いする、そういう流れでどうだろうか。これは決を採らない。

選出方法と監査任期については持ち帰って、議論していただきたい。これは宿題である。あと今日いただいた中から今やっておくようなことはあるか、大体良いと思うが。いずれにせよ細かいことはやっていく中で出てくると思うので、都度修正しながらやっていくしかないと思う。とりあえず議選監査は必要ということを決めてもらったので、9月定例会議初日の全員協議会において議選監査にしゃべってもらうことが決まった。そのために例えば局長と代表監査委員にお願いしておくといったことをやっておいたほうが良い気がするがどうか。

#### ○佐々木委員

どちらかと言うと局長のほうが、全体を網羅して素案などを作る上で、各監査委員の意見を聞きながら作成するので、そのほうが全体を網羅していると思う。

#### ○牛尾委員長

監査委員OBがそう言われるので。とりあえずこの場所で決めるのは議選監査委員と局長に来てもらって、我々にレクチャーしてもらいたい。よろしいか。

#### ○下間書記

ここでの検討結果報告を議長に報告するステップが必要なので、まずはここで。

○牛尾委員長

2年で辞表を出すのは、もう慣例になっている。

○下間書記

本来ならあえて議論するのもおかしい話ではあるのだが、共通認識を更新しておくという意味で、監査委員は4年だからということで言葉を付けて報告することは、できなくはない。

○牛尾委員長

今度監査委員を選ぶときに、もし4年になれば、4年間任せる人をやはり皆で選ばないといけないといったように、そういう視点を持って選ぶようになるのではと思う。

○西田副委員長

例えばいろいろな議員の中で、積極的に意欲とやる気をすごく持っていて本気で監査をやりたいといった方が複数おられるなら、そういうときに限って任期を皆で協議することになりかねないかなと。基本は4年である。

○田畑委員

監査をやりたい人が何人かいるときに限って任期を変えるのではなく、最初から4年にして、議長団のように監査委員の選挙をやってでも頑張りたい人を選ばなければいけない。

○牛尾委員長

議会選出で、最終的には市長が決めるのだったろう。監査の任命権者は市長だから。

○下間書記

同意するのは議会。提案者は市長になる。

○牛尾委員長

ではこの件は終了して次へ移る。

## 2 議会におけるICTの活用と推進について

### ・LINE WORKSの活用

○牛尾委員長

この件は持ち帰ってもらったと思うが。

○下間書記

持ち帰りというか、この間初めて特別委員会の中でご紹介した。本当に取り組んでいくのであれば、また議長に報告するという中で、会派の中でどのような感じか、感想でも聞かせていただければということだった。不明な点はお声掛けいただければ使い方をご説明するというところで終わっていた。

あのとき委員からも、事務局としてはどうかと問われたが、正直、事務局も皆がしっかり使っているわけではない。ただ、説明したようにどなたが既読したかが分かるのは事務局でもとても助かる。これを用いてアンケートも取れるとなると、使い勝手は良いのかなという意見にまとまったので、取り入れる方向でも良いかと思う。た



だ、これもやって、メールもやってあれもやってとなると増えていくばかりなので、やるなら最終的にはメールでのお知らせはなくすなどして、効率良く進められるようにはしたい。

**○牛尾委員長**

自分も使ってみたが、分かりやすい。津山市を視察してみて、良いものだと思ったので、もう少し時間を掛けて、わからないことは事務局からレクチャーしてもらって。

**○西田副委員長**

良い印象を持って視察から帰ってきて、前向きに皆で取り組もうとやってきて、事務局も少しずつやってもらっている。これに慣れてこなすようになり、こちらが優先になってくればメールは自然と消滅する。そういう流れになっていけば良い。

**○牛尾委員長**

画面で1か月の予定が出てくるのがとても分かりやすいと思うのだが。大体皆良いと思う。

**○下間書記**

ではこの特別委員会では、LINE WORKSを導入して活用していくと議長に報告する形で。11月になると常任委員会の改選がある。今、常任委員会メンバーごとに作っているものも、またメンバーを変えることになるので、11月改選後にはLINE WORKSで皆やっていこうといったスケジュール感を持って、これから皆にレクチャーしていくようなイメージで良いように思うが、いかがか。

**○牛尾委員長**

局長から説明があったような姿勢で臨みたい。我々はまだ良いとしても会派にレクチャーしに来てもらわないとなかなか大変かと思うので。またよろしく願います。

**○下間書記**

「議会におけるICTの活用と推進について」でLINE WORKSの活用を一つ掲げていた。前の検討項目のときにLINE WORKSを含めた新しいアプリの活用と、電子採決システムという項目もあった。電子採決システムを今後、浜田市議会で入れていくかについても少し検討していただきたい。

先般の新聞報道で私も驚いたのだが、県内8市で電子採決システムを入れてないのが浜田市と大田市だけだった。ただ、浜田市は賛否の公開は、議会日よりやホームページでやっていて、しかも反対意見まで載せているのは他市にないような先進的な取組なのだが、議場のその場で誰が賛成したか、反対したかというのをモニターに映すといったことをしていない。挙手などの簡易採決で分かるのは分かるが、傍聴者からもぱっと見では分かりにくい。そこが、電子採決システムだとモニターに映されて、すぐに分かるのがメリットではある。新聞記事など、資料はまた用意するので、一旦特別委員会の中で検討していただいて。否定要素はないかと思うが費用が必要なことなので、すぐ導入にはなかなかならず、サマーレビューで今回提案しようと思っているのだが、この特別委員会でそういうのは必要か、必要ではないかといった議論をしていただきたい。

○牛尾委員長

私も新聞を読んだ。挙手採決のときなど事務局職員が数名立って数えているのも気の毒だと思う。システムはどれくらいの金額掛かるのか。

○下間書記

このシステムがマイクと連動していて、マイクにスイッチがあって賛否などを押すやり方、タブレット等で押したらそれがモニターに映るやり方など、いろいろあるので金額も本当に様々。議場のマイクも少し調子が悪くなってきつつあるので、そういったところも含めて予算要求はしようと思っているのだが、何千万と掛かるので。

○牛尾委員長

マイク交換のときに併せてやったほうが。

○下間書記

そのほうが良いかと思っはいるのだが。

○三浦委員

例えばLINE WORKSでも投票機能が付いていて、そこに入っているメンバーは賛否を確認することができる。マイクの調子が悪いのと、機材交換のときにスイッチ付きのものを入れてもコストがあまり掛からないというなら、そのときに機器をバージョンアップしたほうが良いと思うが、過度な設備投資はする必要がないと僕は思っている。例えば今は執行部側からモニターが見えているが、傍聴席から見えるモニターを一つ付けて、こういう機能を使って賛否の公開がそこで分かるようにすれば良いだけの話。今のメリットだけなら。ほかにもメリットがあるならそのシステムを導入する際の検討材料にするべきだと思うが、議場にいる人々に誰が賛成・反対を述べているかが瞬間的に分かるようにするのであれば、必ずしも数千万のシステムを入れる必要はないのではないかと、今の段階では思っている。

○小寺主事

メリットというなら、現在皆に賛否のまとめをSide Booksに書いてもらっているが、システムを入れるとそれが不要になる。反対理由だけは書いていただく形にはなると思うが。そういう効果も一つある。

マイクはそもそも平成26年に入れたもので、もうすぐ10年になるが、耐用年数は5年から7年と言われており、そろそろ更新もしていけない時期に来ている。それに当たっては電子採決システムもというところなのだが、今使っているのが無線マイクで、無線マイクと有線マイクなら有線マイクのほうが安い。電子採決システムを入れるには有線でないとできないと業者に言われていて、有線マイクなので逆に安くなるのと電子採決を入れる金額を比べると、有線で安くなるほうが大きいという状況であることは補足させていただく。

○牛尾委員長

最終日に面倒なことをやらなくても良いならありがたい。

○下間書記

反対するなら今までどおり反対理由を書いてもらう必要があるのは変わらないのだ

が。マイクとは別に、Side Booksにもタブレット採決システムがある。それはまた別にシステム使用料が発生する。金額についてはいろいろな方法によって異なるので、それらを検討しつつ、まずは採決システムを入れるか入れないかを、またこの特別委員会で。今日ではなく、資料もそろえていきたいと思うので、議論していただければと思う。

○牛尾委員長

採決システム導入については資料をもらって、各会派に持ち帰って。

○下間書記

導入となった場合、何を入れるかは事務局に任せていただきたい。採決システムを入れるか入れないか。今までどおり挙手で良いという方もおられるかどうか。

○牛尾委員長

国はデジタル推奨で進めているから。

○下間書記

簡易採決が多い中、たまに起立採決がある。賛否が割れることが予想される場合であるが、ほぼ簡易採決が多い中、多額の費用を投資してこういったシステムを入れるのか、というのも確かにごもっともな意見なので。

○牛尾委員長

資料を作ってもらい、導入するかどうかも含めて会派で近々に議論を交わしてみたい。ただ当委員会は議会改革であって行革ではないので、費用対効果を議論する場ではない。議会改革の観点から言えば入れたほうが望ましいということになるだろう。ただ、お金を使わないのも議会改革である。とにかく各会派に持ち帰りとしたい。よろしく願います。

### 3 議会改革推進特別委員会における中間報告について

○牛尾委員長

一応、協働のまちづくり推進特別委員会が中間報告をされるので、こちらもやらないとあれかと思って、こういう感じで思っている。どこか指摘があれば。

○三浦委員

1点だけ。1ページ目の「委員会の代表質問」だが、6月定例会議でも二つの委員会が行っておられるので、「3月定例会議及び6月定例会議においては」が正しい。

○牛尾委員長

締切りは今日か。

○下間書記

もう少し大丈夫である。

○牛尾委員長

では今週金曜5時くらいで良いか。

○下間書記

何かご意見があればご指摘いただきたい。

○牛尾委員長

では指摘事項があれば今週金曜の5時までに局長まで連絡をお願いする。ということでもよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

4 その他

○牛尾委員長

今日新しいテーマに入ると皆もお疲れの様子であるし。局長どうでしょうか。

○下間書記

今日、特別職報酬審議会に提供するアンケートを皆にお配りした。議員にしっかり書いていただき、それを人事課がまとめて報酬審議会に提供し、しっかり審議会にて検討されると思う。それは各議員のお考えによって書いていただければ良いことであり、会派でまとめるといったものではないので、お持ちの意見は率直に書いていただいたら良いかと思う。書いて私まで提出していただけたらと思う。それを踏まえて報酬審議会ですべて検討されると思う。

○牛尾委員長

ちなみに私は書くだけ書いてもう出した。今、県下8市で浜田市議会の報酬が最低ランクだったと思う。

○下間書記

年額として考えたときか。

○牛尾委員長

ええ。

○下間書記

最低ではない。

○牛尾委員長

そうか、最低だと書いた。せつかくなので、議員報酬について何か。アンケートをまだ書いてない方で何かあれば。

○西田副委員長

先般議長も少し言われていたが、加算率の件もその中に含まれるのか。

○下間書記

加算率は書く欄がなかったが、意見として書いていただいて良いと思う。

○牛尾委員長

ただ前回の報酬審議会の中で、加算率に対する市民の反応がすこぶる悪い。議員がボーナスをもらっているのはご存じだが、加算率についてはほとんどの方がご存じないので。前回提案したときには拒否された。誘導するようなことを言うてはいけませんが、35万円という報酬は20年以上据え置きであるが、議会の活動量は随分増えている。いろいろな物差しがあるが、よく言われる説としては、市長の半分くらい議員はもらっても良いと。きちんと皆書いてもらって、少ないに全部丸して理由も書いてもらえ

ば良いのではないかと思う。曖昧なことを書くと伝わりにくいので、必要なものは必要だとしっかり書いてもらうようお願いする。

○下間書記

3番のところでは議員報酬や政務活動費について意見があればお聞かせを、という自由欄のようなものがあるので、そこに加算率のことなど、気になることがあれば書いていただければと思う。

○西田副委員長

加算率は、情報では浜田市議会とどこかだけが戻っておらず、ほかは戻したといった声があった。

○下間書記

雲南市と浜田市が少なかったのだが、雲南は少しだけ上がり20%くらいになった。

○西田副委員長

加算率を戻した理由は何か。加算率を戻すことについて報酬審議会からの印象が非常に悪いのだが、きちんとした理由があれば。

○牛尾委員長

平成20年に浜田市が全国ワースト5位になった。第2の夕張市になるといって新聞もすごく騒いだ。そこで職員給与を多分カットしている。部課長の加算率も。そのときに総務部長が「職員だけ先にやる」と言ったので、「職員だけカットするのはまずいのでは、議会もカットしよう」と、当時僕が議長だったので独断で、市職員に合わせて25%カットした。それからずっと来ていて。当時の判断が別段間違っているとは思わない。議会だけ何もしないとなると何かあったときに議会の立場が苦しくなると思ってそのようにした経緯がある。それを復活してほしいという要望は良いと思うが、委員長以外の報酬審議会メンバー全員がノーと言われたことは結構重いと思っている。

今日はこのくらいで良いか。次回の日程を決めよう。その前に1件申し上げ忘れた。7月6日にマニフェスト研究所の講習会について事務局に案内が行っているはずだが、7月6日は議選監査関係の講師が結構並んで、10時から4時まで。もしも受けられる方は受けていただきたい。失礼した、それでは日程を決めたい。

( 以下、日程調整 )

今回は7月11日、研修から帰った後、4時半から開催ということで。少し変則だがよろしく願います。ほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

以上で本日の議会改革推進特別委員会を終了する。

[ 15 時 50 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会委員長 牛 尾 昭